


E 球技 ネット型 バレーボール 第2学年

手順3 例示等を基に、第1学年及び第2学年の内容のまとまりにおける全ての「単元の評価規準」を設定します。

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	技能		
<ul style="list-style-type: none"> ・球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。 ・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。 ・球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーブでは、ボールやラケットの中心付近で捉えることができる。 ・ボールを返す方向にラケット面を向けて打つことができる。 ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。 ・相手側のコートの開いた場所にボールを返すことができる。 ・テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。 ・相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。 ・プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。 ・ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>


手順4 当該単元における「単元の評価規準」を設定します。

手順2にある「第1学年及び第2学年『球技』における2年間を見通した指導事項の配置」の指導事項に対応した単元の評価規準を設定します。

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識	技能		
<ul style="list-style-type: none"> ①球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ②対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。 ②相手側のコートの空いた場所にボールを返すことができる。 ③プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。 ④ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ②学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ③体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①作戦などについての話合いに参加しようとしている。 ②一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。

手順5 当該単元における具体的な指導内容の明確化を図ります。

単元の目標の実現には、具体的な指導を充実した上で、「単元の評価規準」により評価を行うことが重要です。そのため、学習指導要領の記載等から、生徒の学習状況を実現するための具体的な指導内容を明確にします。

知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
知識	技能		
<p>球技の技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であること。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>②対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>身体やボールを操作して、味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>①味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。</p> <p>相手側のコートの空いた場所にボールを返すこと。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>②相手側のコートの空いた場所にボールを返すことができる。</p> <p>プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることに。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>③プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。</p> <p>プレイ後、ボールや相手に正対することで、次の準備姿勢をとること。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>④ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p>	<p>提示された練習方法や資料から練習方法を伝え合い、自己やチームの課題に応じた合理的な練習を選ぶこと。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>①提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>体調の変化、ボールやコート等の安全の留意点を練習や試合の場面で他者に伝えること。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>②学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>体力や技能の程度、性別や障害の有無に応じて、実現可能な課題設定や挑戦を認めようとしたり、練習の仕方やゲームに修正方法を見付け、仲間に伝えたりすること。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>③体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>作戦などについて話し合う場面で、自らの意見を述べるなど話合いに参加しようとする事。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>①作戦などについて話合いに参加しようとしている。</p> <p>一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めること。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>②一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

手順6 単元の目標、単元の評価規準をもとに単元を構想しましょう。

【単元構想】

単元名	球技 ネット型 バレーボール			
単元の目標	<p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができるようにする。</p> <p>イ ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。</p> <p>(2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>			
単元の評価規準	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	知識	技能		
	<p>① 球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>② 対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>① 味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。</p> <p>② 相手側のコートの中空いた場所にボールを返すことができる。</p> <p>③ プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ることができる。</p> <p>④ ボールを打ったり受けたりした後、ボールや相手に正対することができる。</p>	<p>① 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>② 学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>③ 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>① 作戦などについての話し合いに参加しようとしている。</p> <p>② 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</p>
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）				
<p>仲間と協力して学習する中で、バレーボール（球技）に関する理解を深め、空いた場所をめぐる攻防を展開して楽しさや喜びを味わい、日常生活でも球技をはじめスポーツに多様な関わり方をする生徒</p>				
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方		
<p>ボール操作と空いた場所をめぐる攻防を工夫することでラリーを楽しみ、仲間と高めながらバレーボールを楽しもう。</p>		<p>バレーボール（球技）の勝敗を競う楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割に着目して、ボールを操作しながら空いた場所をめぐる攻防をする。ポイントや仲間の出来栄を見る。補助をしたり、仲間に助言したりして支える。バレーボールの特性や名称、ポイント等を知る。といった多様な関わり方と関連付けること。</p>		

指導計画と評価計画は、手順5で考えた指導内容の明確化との整合性も図りましょう。

指導計画と評価計画											
時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
学 習 の 流 れ	0	健康観察・本時のめあての確認・準備運動									
	10	オリ エン テー シ ョ ン	スキルア ップトレ ーニング パス サービス スパイク	スキルアップトレーニング パス・サービス・スパイク						前時 ゲー ムの 修正	班 対 抗 戦
	20			技術の名称と ポイント	技能の程度に応じた練 習を選ぶ				課題確認と練習選択 【攻め方】 【守り方】		
	30	ボールの操作と ボールのつなぎ 方 空いた場所に ボールを返す こと	各ポジシ ョンの定 位置に戻 る動き	ボールや 相手に正 対する動 き	班 対 抗 戦						
	40	試しのゲーム	ボールキ ャッチゲ ーム ボールを つなぐ	ボールキャッチ ゲーム（2回有） 作戦など話し 合いへの参加		ボールキャッチゲーム （1回有）（1回選択） 一人一人 の違いを 認める	楽しむ方 法を見つ け伝える	安全上の 留意点を 伝える	単 元 の ま と め		
50	整理運動・学習の振り返り・次時の確認										
評 価 機 会	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	知	(①)		(①)	①		②				総括的 な評価
	技		①	②		③		④			
	思				①				③	②	
態			①		②						
【評価方法】知識（学習カード）技能（観察）思考・判断・表現（学習カード・観察）主体的に学習に取り組む態度（観察 学習カード）											

具体的な指導内容	
1	<p>関連して高まる体力とその体力向上の手立て ネット型では、巧緻性、敏捷性、スピード、筋持久力などが、型に求められる動きに関連して高められる。</p> <p>【導入】本単元で高まる体力は、巧緻性、敏捷性、スピード、筋持久力であることを確認し、体力向上のために必要な運動を毎時間確認できるように前面に掲示する。</p> <p>【時間】学習の流れを掲示する。準備運動やスキルアップトレーニング、練習や試合等を通じて、関連して高まる体力や体力テストの課題種目などに取り組む時間を十分確保する。</p> <p>【音楽】生徒の意欲向上に向け、活動に適したBGMを活用する。準備運動やトレーニング、試合中に活用することで、生徒の自主性を促し、運動量を確保できる。</p>
2	<p>基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得のために（技能向上のための手立て）</p> <p>【基本技能】パス・サービス・スパイク等について、イラストカードを掲示したり、生徒の模範演技や</p>

動画を見せたりすることで、基本技能に挑戦したいという意欲を持たせる。

【スキルアップトレーニング，ドリルゲーム】学習の前半に，個人で行う基本技能のスキルアップトレーニングの時間を設定する。基本技能のドリルゲームを取り入れることで，仲間と競争しながら上達を確認する。ドリルゲームとしては，アンダーハンドパスを続ける，オーバーハンドパスでバスケットリンクに入れようなどの技能向上を目指すゲームを取り入れる。

3 ICTの活用

【導入】ICT機器によりラリーの映像視聴→《効果》単元のゴールのイメージを持たせる。

【展開】参考にしたいプレイをICT機器で撮影

→よかったプレイを発見させ，合理的な運動の取り組み方を共有する。

4 障がいのある生徒などへの配慮

【身体の動きに制限がある場合等】

○サービスを前から打つなど，個別もしくは全体でのルールの弾力化を話し合いで決定する。

○生徒の実情に応じて挑戦することを認め合う声かけや雰囲気づくりに配慮する。

○学習を通して，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの関わり方に気づかせ，生涯を通じて運動を継続して楽しむために積極的に体験させ評価する。

5 体力や技能の程度，性別や障がいの有無を超えて運動やスポーツを楽しむために，運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるような学習活動・学習形態・練習の取り組み方，ルールやゲームの工夫，男女共習の工夫例など

【課題設定】

「ラリーを楽しむゲームにするためには，どんな言葉かけが有効か」課題として考えさせることで，チームプレイは技能面だけでなく，チームの雰囲気も重要な要素であることに気づかせる。

【ルールの工夫】

ラリーが続くゲームにするために，プレイヤーの人数制限，コート広さ，ネットの高さ，軽量ボール等の使用，ラリー中にキャッチを取り入れるなどのルールを工夫する。

1～5が新学習指導要領のポイントです。



時間	学 習 内 容 ・ 活 動
1	<p>【学習内容】</p> <p>○球技の技術には名称があり，それらを身につけるためのポイントがあること。 (知)</p> <p>【オリエンテーション】</p> <p>1 バレーボールの特性，技術や身につけるためのポイント，ルールについて理解する。 (1) バレーボールの歴史，技術や身につけるためのポイント，安全の留意点，学習のねらい，学習の流れ，班編制，記録カードの記入などについて理解する。 (2) ラリーの映像を動画で視聴し，学習のゴールをイメージする。</p> <p>2 試しのゲーム（4対4：ソフトミニバレーボール）※特別ルール適用 (1) ソフトミニバレーボールを使用し，簡易ゲームを行う。 (2) 技能習得の状況を確認する。</p> <p>3 整理運動，学習のまとめ，振り返り</p>



オリンピックの動画などいいですね。

【学習内容】

○身体やボールを操作して、味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと。(技)

1 スキルアップトレーニング

【技能のスキルアップトレーニング】

- ① 1人で①直上オーバーハンドパス30回
 - ②直上アンダーハンドパス30回
 - ③片手パス30回
- ② 2人で④サービス5本(アンダー、フローター)
 - ⑤ブロック5回(ペアが投げ上げ)
 - ⑥スパイク5回(ペアが投げ上げ)

スキルアップトレーニングを生徒の実態を考慮して、他にも工夫してみましょう。



2 簡易ゲーム(ボールキャッチゲーム)

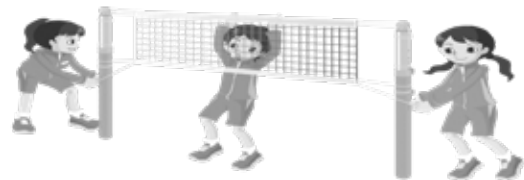
2 (1) ルールを確認する。

① 3回で返すこと	⑥ バドミントンコート使用、ネット2m
② 1回目と2回目はキャッチOK	⑦ 4対4(1チーム4~5人程度)
③ 3回目はジャンプなしアタックで返球	⑧ 5分間の時間制で終了
④ サービスは前からでもOK	⑨ ボールはソフトミニバレーボール使用
⑤ アンダーハンドサービスのみOK	⑩ ローテーションを行う など

(2) ボールキャッチゲームを行う。(5分×3セット, 試合間1分で作戦タイム)

3 整理運動, 学習のまとめ, 振り返り

コートの準備や片付けについても積極的に評価しましょう。



【学習内容】


- 相手側のコートの空いた場所にボールを返すこと。(技)(第3時)
- 作戦などについて話し合う場面で, 自らの意見を述べるなど話し合いに参加しようとする事。(学)(第3時)
- 球技の技術には名称があり, それらを身に付けるためのポイントがあること。(知)(第4時)

3

1 技能のスキルアップトレーニング(ドリルゲーム)

2 タスクゲーム①「ボールキャッチ2回ゲーム」(レシーブ・トスでキャッチ)



4	<p>【学習課題】「どうすれば相手コートの空いた場所にボールを返せるかな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時のルールを使用し、アタックはジャンプなしで行う。(3分程度) ・サービス3本ずつ交代で攻防を繰り返す。(攻防終了後、ローテーション) ・空いた場所を見つけてアタックで返球する。 ・レシーブとトス、アタックの役割を意識してボールを3回でつなぐ。 <p>3 メインゲーム(ボールキャッチ2回)を行う。</p> <p>(1) 5分×3セット(セット間1分間は作戦タイム)</p> <p>(2) どの空間に返すか、チームで話し合っ意見交換し作戦を立てる。</p> <p>4 整理運動、学習のまとめ、振り返り</p>
5	<div data-bbox="970 450 1444 696" style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【障がいのある生徒などへの配慮】 声かけの視点を工夫しよう。</p> <p>①雰囲気をよくする声かけ ②ラリーを続ける声かけ ③技術を高める声かけ など</p> </div> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プレイを開始するときは、各ポジションの定位置に戻ること。(技)(第5時) ○一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとする事。(学)(第5時) ○対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶこと。(知)(第6時) <p>1 技能のスキルアップトレーニング(ドリルゲーム)</p> <p>2 タスクゲーム②「ボールキャッチ1回ゲーム」(レシーブ時にキャッチ)</p> <p>【学習課題】「ポジションに応じて、定位置に戻る動きを身につけてゲームをしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイを開始するときの各ポジションの定位置を確認する。 ・前時のルールを使用し、アタックはジャンプ有りで行う。(3分程度) ・サービス3本ずつ交代で攻防を繰り返す。(攻防終了後、ローテーション) ・空いた場所を見つけてスパイクで返球する。 ・レシーブとトス、アタックの役割を意識してボールを3回以内でつなぐ。 <p>3 メインゲーム(ボールキャッチ1回)を行う。</p> <p>(1) 5分×3セット(セット間1分間は作戦タイム)</p> <p>(2) 空いた場所に落とすためにどう攻撃するか、自分たちのグループの一人一人の違いに応じた課題や挑戦したいことを踏まえてチームで作戦を立てる。</p> <p>※一人一人の違いに応じて話し合い、認め合えるように話す。</p> <p>4 整理運動、学習のまとめ、振り返り</p> <div data-bbox="986 1742 1289 1966" style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>ICT機器で撮影し、チームの動きの様子を確認しましょう。</p> </div> 

【学習内容】

- プレイ後、ボールや相手に正対することで次の準備姿勢をとる。(学)(第7時)
- 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見つけ、仲間に伝えること。(思)(第8時)

1 技能のスキルアップトレーニング(ドリルゲーム)

2 タスクゲーム③「ボールキャッチ1回ゲーム」(キャッチは選択可能)

【学習課題】「ボールにすばやく反応するためには、体の向きをどうしたらいいかな。」

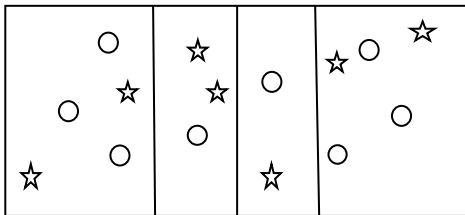
- ・前時のルールを使用し、アタックはジャンプ有りで行う。(3分程度)
- ・ボールキャッチは1回目のレシーブのみとする。(キャッチは選択OK)
- 7 ・サービス3本ずつ交代で攻防を繰り返す。(攻防終了後、ローテーション)
- ・サービスはアンダーハンド、フローターサービスでもOK
- ・ボールや相手に正対することで、次の準備姿勢をとる。
- 8 ・ブロック有りとする。
- ・レシーブとトス、アタックの役割を意識してボールを3回以内でつなぐ。

ICT機器で撮影したゲームをもとに分析しよう。

3 メインゲーム(ボールキャッチ1回選択制)を行う。

- (1) 5分×3セット(セット間1分間は作戦タイム)
- (2) 空いた場所に落とされないうえにどう守るか、チームで作戦を立てる。

4 整理運動、学習の振り返り



ルールは生徒の実態によって、工夫しましょう。



小型ホワイトボードで記録をつけよう！ボールが落ちた場所に☆マークをつけると守備について分析ができるね。

【学習内容】

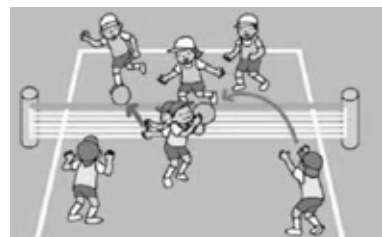
- 体調の変化、コート等の学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えること。(思)

1 技能のスキルアップトレーニング

2 課題解決学習(前時までのゲームの修正をする。)

【学習課題】「空いた場所にボールを落とすための作戦を立て、練習に取り組もう。」

- 9 (1) 学習課題について、作戦や練習方法を話し合う。
- (2) チームの課題に応じて、その課題につながる練習を選択し、各チームで練習する。



3 メインゲーム(ボールキャッチ1回選択制)を行う。

- (1) 5分×3セット(セット間1分間は作戦タイム)
- (2) チームの作戦が実践できたか、作戦タイムで振り返る。

どんな攻撃が有効だったかな、どの場所にボールは落ちたかな。

4 整理運動、学習のまとめ、振り返り



【学習内容】

○リーグ戦を行うことで、単元の学習を振り返ること。(学)

1 技能のスキルアップトレーニング

2 まとめのゲーム (リーグ戦)

【学習課題】

「空いた場所にボールを落とすための作戦を立て、リーグ戦に取り組もう。」

ボールキャッチゲーム (キャッチ1回選択制) を行う。

- (1) 5分×4セット (セット間1分間は作戦タイム)
- (2) チームの作戦が実践できたか、作戦タイムで振り返る。

3 整理運動、学習のまとめ、振り返り

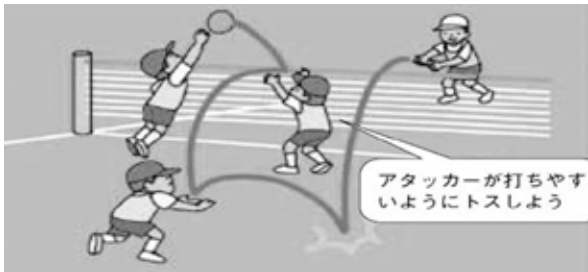
- (1) 個人での振り返り (学習シート)
- (2) チームでの振り返り (学習課題シート) ⇨ 発表へ
- (3) 教師の評価 (単元の中で、生徒の成長の様子を伝える)



10

作戦を立てたり、チームで声をかけ合ったりすることで、ラリーが続くようになってきたね。

【障がいのある生徒への配慮】
声かけの視点について振り返る。
①雰囲気をよくする声かけ
②ラリーを続ける声かけ
③技術を高める声かけ など



学習カードについては、参考例を紹介しています。生徒の実態に合わせて工夫してみましょう。